

「若手離職」に悩む 営業・人事部門にお勧めの 対策とは？

2020年のコロナ禍への対処として「原則在宅勤務」が急速に普及してきたことで、若手社員の育成やコミュニケーションの在り方に大きな変化が訪れました。この記事では、弊社独自の視点に基にした「テレワーク時代の若手社員の早期離職理由と対策」をご紹介します。



テレワークでリスク急増 コロナ禍で変わった若手社員の早期離職 の理由と対策

コロナ以前から多くの企業が若手社員の離職問題に頭を痛めていましたが、何が不満が不明のまま、若手が辞めてしまったなど、コロナ禍によりテレワークを与儀なくされた企業にとって、さらに対策の難易度が高まっています。

テレワーク環境下で若手社員の離職の原因について調べたところ、以下のような課題が挙げられていました。

テレワーク環境で若手社員の離職原因

- ① 同期や先輩社員とのコミュニケーション不足
- ② 自律的に業務を遂行する必要性に対する認識の甘さ
- ③ OJTや業務を通じた教育効果の低下

本来は「通勤時間の負担がなくなる」、「感染リスクが減る」といったメリットが多いはずのテレワークですが、まだ仕事や職場に慣れてない若手社員にとって、職場の人との対面時間が「短く」なり、対話が「日常的から意図的」になりました。社内の交流は若手社員にとって、単に親睦を深め円滑に仕事をするためだけでなく、仕事内容や組織文化・理念を理解し、会社に適応することを促す役割があります。

若手社員が会社に適応できない状態が続くと、孤立感からメンタルヘルスの不調につながり、早期離職といった事態になってしまいます。その対策を打たなければ、若手・新入社員が会社で得られる学びが大幅に減少してしまいます。コミュニケーションを増やし、孤立感を減らす必要があります。

そうした課題に対し、柔軟に対応できる最適なツールがあります。それが「Sharewind」です。

Sharewindで若手社員へのケア・早期離職を防止

Sharewindは、メール・チャット・ビデオ通話など、それぞれのコミュニケーション方法に合わせて必要な機能が備わっており、1対1の会話、グループでのやり取りのどちらにも適しています。帰属意識を醸成させるため、コミュニケーションを増やす適したツールの使用は不可欠です。

Sharewindを使用した実例

チャットルームを作成しその中のメンバー間で、リアルタイムでスピーディなやり取りができます。メンションすれば伝えたい情報を相手にスムーズに届けることができ、様々な絵文字でアクションができるので細かな感情が伝えやすくなっています。



簡単ではありますが、「Sharewind」の紹介は以上となります。細かい仕様をご覧になりたい方は、以下のWebサイトをご参照ください。また、Sharewindは無料版もご用意しております。この機会に是非、無料版をご体験ください！

お客様のお悩み解決をサポートするツールをご紹介

弊社が提供するWebコミュニケーションサービス_Sharewindは、ツールの三大要素「Web会議システム、ビジネスチャット、グループウェア」の全てを有し、誰でもお手軽にはじめられます。この機会に「Sharewind」のご利用をご検討ください。

Sharewindの詳細など詳しくは
今すぐWebでチェック！



<https://www.iwatsu.co.jp/sharewind/>